

# 科学世界は神へと向かう

5.0

明:

年に渡って神をきけて来た科学者が、ついに知的（インテリジェント デザイン）を受け入れたという逸。

目: [事イスラムの真性を示す数々の神的存在](#)

より: A.O.

日 5 Jan 2010

集日 11 Jul 2010



“私は に多くの人々に影を与えてしまっているため、ぜひともその甚大な影を修正したいと望んでいる。”（アントニ フル）

最近の新聞面では、神を支持する著名な哲学者アントニ フルによる、悔にちた言がを集めました。81の英国人で哲学教授でもあるフルは、15の年に神者となる意をし、1950年に表した文によって言界に登りました。その54年に渡り、オックスフォード大学、アバディン大学、キル大学、レディング大学の教授として、多くの米国やカナダの大学をし、や著、事などで神を弁してきました。しかしながら近年、フルはこのちを放棄し、宇宙は造されたものであると述べたのです。

この画期的な点の化における大きな要因は、造という主にして科学が解明した、明かつ定的なものです。フルはこのに入りんだ情化社会において、生命の真の起源とは知的（インテリジェント デザイン）であり、彼が66年に渡り信奉してきた神は信性のない哲学であることを信じたのです。

フルはこの信条の化について、以下のような言で科学的根を表しました：

“生物学者たちによるDNAの研究により、生命を引き起こすために必要な信じい程のな配列が解明されており、そこには何らかの知的存在の与が必なのである。”<sup>[1]</sup>

“最初に生み出された生命体が、化に基づいたものであるという捉え方は、今やめて困なこととなった。”<sup>[2]</sup>

“私は命のい物から生物が化し、端にな生命体にしたことは不可能であると信させられた。”<sup>[3]</sup>

フルがそれを自分自身の解の更における根本的原因として言及しているように、DNA研究は造にするくべき事を明らかにしています。DNAのらせん造、そこに含まれる情、そしてヌクレオチド分子は偶然性を排除し、百科事典的な情量とその他多くのは、この分子の造と役割が生命のために特により配置されたということを示しているのです。DNA研究に携わる科学者たちによるコメントは、その事を言します。

DNAのらせん造をした科学者の一人であるフランシス クリックは、そのの、生命の起源が奇を示唆していることをめました：

“我々に得ることの出来る知の全てを活用するな者は、生命の起源はほぼ奇に近く、多くの条件をたされた上で生かされているのであると述べざるを得ないのである。”

<sup>[4]</sup>

ロサンゼルスにある南カルフォルニア大学のレド アドルマン氏の算によると、

1グラムのDNAは、コンパクト ディスク一兆枚分<sup>[5]</sup>

の情をすることが出来ると述べられています。ヒトゲノム画に参加した科学者の一人

であるジョン・マイヤース氏は、その奇 的な配置を 言した上で、次のように述べています：

“私を最も 愕させるものは、生命の建 式である このシステムの さは 的である。それは あたかも されているかのようである そこには大いなる知性が て取れるの [だ](#)。”

DNAに する最も すべき事 とは、 暗号情 の存在が物 エネルギー 的 点、また自然法からも 明 のつかないことです。ドイツ 邦工科大学の教授を めるヴェルナ ギット博士はこれに し 、こう っています：

“暗号システムというものは、常に知的工程の 果もたらされるものである 物 はいかなる暗号をも生成することは出来ないことを されなければならない。あらゆる状 は、自らの自由意志、 力、 造性を活用する、思考する存在が必要でなければならないことを示している 物 が情 を持つようになるという 象は自然法に当てはまらず、またそのような物理的 程や物的 象も されてはいな [い](#)”

造 を支持する科学者 哲学者たちによる主 、そして上 のような は、フル の 造 への に大きな役割を果たしました。近年、フル は 造 を支持する科学者 哲学者たちとの に参加してのやり取りをしました。その行程における最 の は、2003年5月にテキサスの形而上学研究所によって催された 会でした。フル 教授は作家のロイ アブラハム ヴァルギ ス、そして物理学者 分子生物学者のジェラルド シュレ ダ と共に に参加しました。フル は 造 の科学的根 の 重さに 心し、相手の 得力ある にも感 を受けたため、それをきっかけとして 神 を破 しています。英国の *Philosophy Now* [??2003?8?9??](#)

に投稿した文章で、彼はシュレ ダ の本 *The Hidden Face of God: Science Reveals the Ultimate Truth*” とヴァルギ スの本 *The Wonderful World.*” を推 しました。[\[8\]](#)

また彼の信条を 化させる大きなきっかけを与えた一人である哲学 神学教授のゲイリ R ハバマス [\[9\]](#)とのインタビュー において、また *Has Science Discovered God?*”

というビデオの中で、彼は知的 造を信じていることを公に めたのです。

## “宇宙に浸透する知能” と 神 の崩

上のような科学的展、また神を年に渡りしけて来たアントニフルによる知的の容  
神の崩が最段に入っていることを反映されています。近代科学は“宇宙に浸透する知  
能”の存在を明らかにすることにより、神を方程式の中から取り除いたのです。

その著 *The Hidden Face of God*

”の中で、フルに影を与えた造支持の科学者であるジェラルドシュレダはこうしてい  
ます：

的知能を持つ唯一の者、すわなち普遍的英知は全宇宙に浸透しているのである。素粒  
子研究における科学の は、我々を くべき の へと突き かけた。全ての存在はこの英知に  
よる表 であるということである。我々は研究室の中で、それがまず物理的にはっきり  
としたエネルギーとして存在し、そして凝して物を形成する情として する。核から人  
いたるまでのあらゆる粒子、あらゆる存在は、英知による特定の情を象しているかの  
ようである。[10]

胞の きと物の素粒子の双方における科学的研究は、この事を の余地のないものとして  
明にしました。つまり生命と宇宙は、至高の知性と英知を有する者の意志によって か  
ら造されたのです。あらゆるレベルにおいて宇宙を したその知の所有者とは、全能な  
る神であることに疑いはありません。神はこの真を、クルアンの中の多く々で明らか  
にしているのです。

---

#### Footnotes:

[1] リチャド N オストリング, “Lifelong atheist changes mind about divine creator”, ワシントン タイムズ  
2004年12月10日号; (<http://washingtontimes.com/national/20041209-113212-2782r.htm>)

[2] アントニフル, “Letter from Antony Flew on Darwinism and Theology”, Philosophy Now (  
<http://www.philosophynow.org/issue47/47flew.htm>).

[2] Stuart Wavell and Will Iredale, “Sorry, says atheist-in-chief, I do believe in God after all,” The Sunday Times, 1 December 2004; (<http://www.timesonline.co.uk/article/0,,2087-1400368,00.html>)

[3] Francis Crick, Life Itself: Its Origin and Nature, New York: Simon & Schuster, 1981, p. 88

[4] John Whitfield, “Physicists plunder life’ s tool chest” , 24 April 2003; (<http://www.nature.com/nsu/030421/030421-6.html>)

[5] サンフランシスコ クロニクル 2001年2月19日号

[6] ヴェルナ ギット, In the Beginning Was Information, CLV, Bielenfeld, Germany, pp. 64-7, 79

[7] アントニ フル , “Letter from Antony Flew on Darwinism and Theology,” Philosophy Now; (<http://www.philosophynow.org/issue47/47flew.htm>)

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/265>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。